

令和3年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	高齢者生きがい活動センター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市北区植竹町1丁目593番地1</p> <p>②施設の設置目的 高齢者を対象に就労を支援するための各種研修や技術指導を行うとともに、高齢者の豊かな経験や知識及び技術を活用した地域活動の支援と生きがい活動の場の提供を通じて、高齢者の生きがいづくりや健康づくりを促進する。</p> <p>③施設の概要 敷地面積 2466.72㎡ 延床面積 759.00㎡ 構造 鉄骨造平屋建</p> <p>・施設機能 老人憩いの家 高齢者就労支援施設・シルバーワークプラザ 地域活動拠点施設</p>
(3)指定管理者	公益社団法人 さいたま市シルバー人材センター
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和元年度 14,841千円 令和2年度 14,976千円 令和3年度 15,785千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 ・利用者数 2,637人(前年度1,067人) ・稼働率21%(前年度12%)</p> <p>◇業務実施状況 施設開館時間: 休館日を除く、8時30分から18時まで。 休館日は、こどもの日及び敬老の日を除いた祝日及び年末年始(12月29日から1月3日まで)</p> <p>②維持管理業務の状況 ・日常清掃 開館日の毎日(随時除草を含む) …会員2名 ・植栽管理 高木剪定(2月実施) ・備品管理 備品確認(2月～3月実施) ・消防訓練 2回/年(9月及び3月実施) …9月:5名、3月:5名 ・救命講習 1回/年(12月) …コロナ感染症防止のため中止</p> <p>③その他の業務 就労支援事業: 年間5講座実施した(外2講座がコロナ感染症防止のため中止) 地域活動支援事業: 年間2講座実施した</p>

(6)収支状況	①収入 ・利用料金収入334千円（前年度215千円） ・指定管理料15,785千円（前年度14,976千円） ②支出 ・人件費6,446千円（前年度6,264千円） ・事業費2,237千円（前年度1,783千円） ・施設管理費6,345千円（前年度6,813千円） 【自主事業】 ①収入2,209千円 ②支出2,209千円
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	意見・要望なし
(8)その他	特になし

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
利用団体代表者会議の開催	4月と10月に実施。施設利用の再開にあたり、一部利用制限の実施について説明を行った。

3. 評価

(1)指定管理者による評価

<p>○就労支援事業及び地域活動支援事業の実施 60歳以上の市民を対象に就労支援として事務に関する講座(初心者から中級者を対象としたパソコン講習)及び技術向上に関する講座(障子張り講習)を実施した。ただし、パソコン講習の一部はコロナ感染防止のため中止となった。 60歳以上の市民を対象に傾聴ボランティア養成講座を実施し、地域活動の支援に努めた。</p> <p style="text-align: right;">○高齢者の憩いの場の提供</p> <p>地域住民の日頃の趣味や活動の成果を発表する場として演芸大会や囲碁大会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。</p>

(2)さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A~D

- (1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価
- ・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しつつ、可能な範囲での就労支援事業の実施や、利用団体代表者会議にて利用者への説明を実施するなど、市民サービスの向上に努めた点を評価した。
- (2)「経費の削減」に対する評価
- ・予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。
- (3)「適正な管理運営の確保」に対する評価
- ・新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、ガイドラインに即した施設の管理・運営を実施したことを評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。